



とねしょうかわらばん

12月9日版

【5年生 米作り】



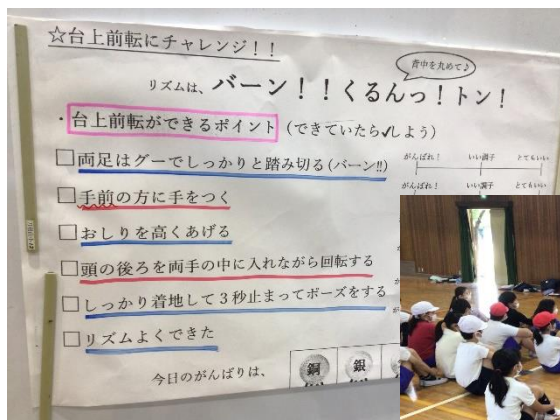
田植え→稲刈り→脱穀と体験を重ねてきた5年生、今回は、お正月前に作るしめ縄づくりに向けた藁の打ち方を体験しました。今回も地域ボランティアの方々が来てくださり、木槌の持ち方、藁の打ち

方を丁寧に教えてくださいました。子どもたちは集中して取り組んでいました。

さあ、次はいよいよしめ縄づくりです。個性豊かなしめ縄が出来上がることを楽しみにしています。



【4年生 体育】



4年生は、体育の器械運動領域で、跳び箱の上で前転をする「台上前転」の単元を学習しました。器械運動は、技のリズムをイメージすることが重要で、「バーン!! くるんっ! トン!」を合言葉に踏み切り、前転、着地をイメージしていました。

そして、台上前転のポイントを毎時間確認します。



準備運動では、技のポイントとして重要になる動きを練習します。右の写真では、高く腰を上げてカエルの足うちの運動です。腰を上げている間に何回足を打てるかな・・・。台上前転は、踏み切った後高く腰を上げることで前転がしやすくなります。





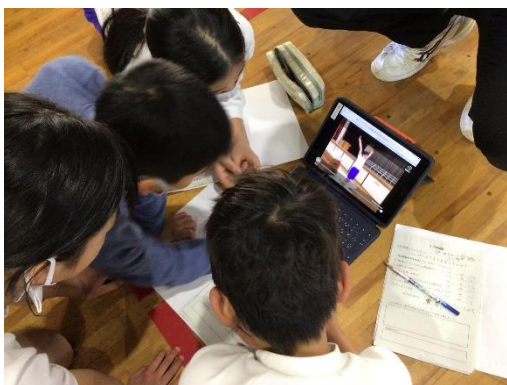
前回の授業時間に友達からアドバイスをもらったことをもとに子どもたちは一人ひとり課題を明確にもって学習に取り組みます。体育館には自分の課題克服に合う場で台上前転の学習ができるように複数の場を設定しています。

この「台上前転」の单元では、iPad の機能を存分に活用した学習が毎時間展開されていました。



左の写真は、技の練習をした直後に「遅延動画アプリ」を活用して、自分が試技した直後に動きを動画で確認し、課題である動きができたかどうかをチェックしています。

右の写真は、個人の学習が終わった後、グループでお互いの試技の様子を動画で撮影しているところです。



左の写真は、撮影したお互いの動画をグループで一人ずつ再生し、一時停止や巻き戻しなどを何度もしながら、技のポイントができていたのかどうか、どうすれば課題が克服できるかを、確認しながらアドバイスをし合っています。この時間が次の授業で学習する目標を各自が決めることができる重要な時間となります。

器械運動は、自分の動きを把握しにくい部分が授業づくりの難しさでしたが、iPad の普及により、客観的に自分の動きを確認できることで、子どもたちは意欲的に学習に取り組めます。